

## 《一般書》

### 第165回 芥川賞受賞受賞

#### 『貝に続く場所にて』 石沢麻依

第64回 群像新人文学賞受賞

ドイツの学術都市に暮らす私の元に、震災で行方不明になったはずの友人が現れる。人を隔てる距離と時間を言葉で埋めてゆく、現実と記憶の肖像画。

#### 『彼岸花が咲く島』 李琴峰

流れ着いた島では〈ニホン語〉と〈女語〉、二つの言語が話されていた— 彼岸花の咲き乱れる砂浜に倒れ、記憶を失っていた少女は、海の向こうから来たので宇美と名付けられた。ノ口に憧れる島の少女・游娜と、〈女語〉を習得している少年・拓慈。そして宇美は、この島の深い歴史に導かれていく。

### 第165回 直木賞受賞

#### 『テスカトリポカ』 佐藤究

第34回 山本周五郎賞受賞

メキシコのカルテルに君臨した麻薬密売人のバルミロ・カサノラは、潜伏先のジャカルタで日本人の臓器ブローカーと出会う。二人は新たな臓器ビジネスを実現させるため日本へ向かった。天涯孤独の少年・土方コシモは、バルミロに見いだされ、知らぬ間に彼らの犯罪に巻き込まれていく—

#### 『星落ちて、なお』 澤田瞳子

不世出の絵師・河鍋暁斎が死んだ。それによって、河鍋家の中で辛うじて保たれていた均衡が崩れた。家を継ぐ気のない兄、弟は根無し草のような生活に、妹は病弱で長く生きられそうもない… 河鍋一門の行末はとよの双肩にかかっているのだったが…

## 《児童書》

#### 『竜とそばかすの姫』 細田守

事故によってお母さんを失い、歌が歌えなくなった少女・すず。ある日友達のヒロに誘われてインターネットの中にあるもう一つの世界「U」に参加しました。歌えないはずのすずでしたが、「U」の世界ではベルと名乗り、歌うことができ大スターとなっていきます。ベルのコンサートの日、竜と呼ばれる謎の存在が飛び込んできてコンサートはめちゃくちゃに…「どうしてこんなことをするのだろう？」すずは、乱暴で嫌われているけど、どこかさみしそうな竜のことが気になりました。そこでヒロと一緒に竜をさがすことにしたのですが…。